



# 沢地小だより

9号 令和4年12月1日

## 沢地カーニバル実施しました！



11月19日（土）に沢地カーニバルが行われました。本年度のスローガンは、「かがやけ！ 沢地の主役たち ～学んで生かすカーニバル～」です。

コロナの影響で、R2年度は保護者・地域の参観なしで実施、R3年度は6年生の保護者のみの参観でした。実は、カーニバル2週間ほど前から、本校を含め市内の感染状況が良くなかったことから、今年度も制限が必要かと考えましたが、今後の「with コロナ」を考える中で、本年度は「お店」を出店する3～6年の保護者及び学校運営協議会委員、日頃よりお世話になっているスクールガードのみなさんにも参観いただく形で実施することが出来ました。



6年生のお店の様子

沢地カーニバルは3年生以上の各クラスが、これまで学習したことを生かした「お店」をつくり、全校に紹介する学習の場です。（1・2年生はお客さん）それぞれの学級が、当日を迎えるまでには、企画から始まり、分担の決定、必要なものの準備等々、多くの時間をかけて取り組んできました。また、昼の放送で、各クラスのCMも行いました。



3年生初めての出店

自分たちの想像通り上手に出来たこともあれば、準備を十分にしたと思っても上手くはいかないこともあったかと思えます。子供たちは、カーニバルという行事を通して、人との関わりを学ぶと共に、創り上げる楽しさ・難しさを学ぶことが出来たと思えます。

「かがやく子供たちの笑顔」、「学んだことを人に伝える姿」、スローガンのとおり「一人一人が主役」となったカーニバルになりました。

## 少しずつ環境を整備しています

学校ブログでもお伝えしているとおり、校庭西側に歩道を作っていただきました。今までは雨の日にぬかるんだグラウンドを子供たちは歩かなければならず、靴も汚れ、グラウンドもグチャグチャになっていました。

現状を市教育委員会に相談したところ、「子供たちのためなら」と短期間で施行していただくことが出来ました。

また、運動場南側の体育倉庫横にあった緑色の「投てき板」ですが、土台の腐食が進んでおり危険なことから撤去しました。長い間、子供たちに親しまれた校庭の遊具がなくなることは少し悲しいことですが、安全には変えられません。



完成した歩道

来年度、沢地小は創立50周年を迎えます。子供たちのために、少しずつではありますが、学校の環境を整備していきたいと思えます。